



# でんき講座

10月  
VOL.40

## 危険！身の回りの電気事故

電気製品の手入れをしていなかったことや手入れ方法を間違えたことが原因で起きた事故があります。身近に潜む電気事故に遭わないように、電気製品の管理に気をつけましょう。



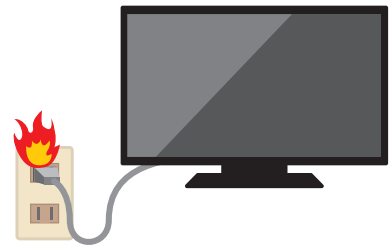
ほあんくん



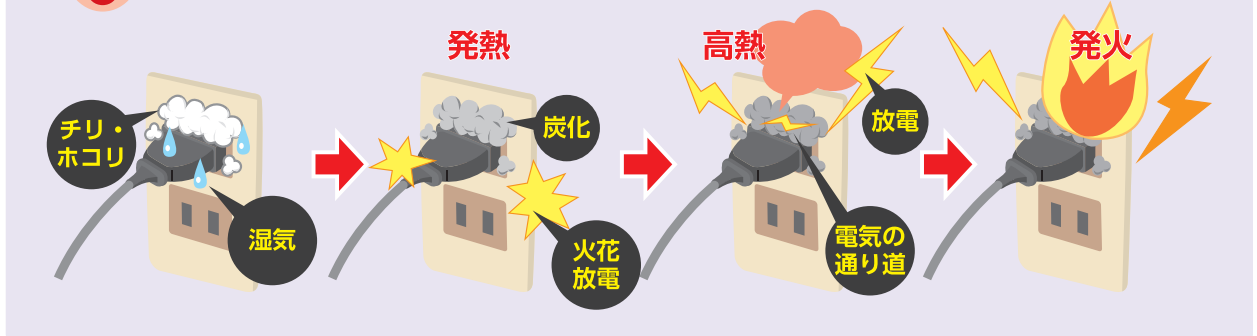
### コンセント付近から発火

長い間、エアコンのプラグをコンセントに差し込んだままという方はいませんか？

プラグとコンセントの間にほこりや湿気がたまり、発火につながる「トラッキング現象」が発生する恐れがあります。

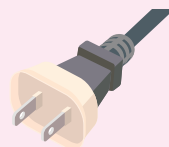


### トラッキング現象とは ～ホコリから火災に至るまで～



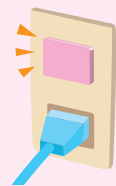
### トラッキング現象を防止しましょう！

トラッキング現象を防ぐために、時々プラグを抜いて、プラグやコンセント付近のほこりを取り除きましょう。冷蔵庫や洗濯機など日ごろコンセントからプラグを抜かない電気製品は、ほこりや湿気を防ぐトラッキング対策用品、トラッキング防止付きプラグを使うのも有効です。



プラグ安全カバー

プラグの差し込み部分を覆い、ほこりをガード。



コンセントキャップ

使用していないコンセントを塞ぎ、ほこりを防止。



- 当協会を名乗り、電話勧誘・訪問を行った末、点検料を請求するなど、悪質な事案が発生しています。不審な訪問販売やセールス電話には十分にご注意ください。
- 九州電気保安協会は ⚡ のマークの職員証を付けた作業服を着用しています。

電気に関するご相談は、最寄りの事業所またはホームページでお受けしています。

<https://www.kyushu-qdh.jp>

九州電気保安協会

検索



一般財団法人

九州電気保安協会



## 誤った手入れでエアコンから火災

新型コロナウイルスの影響で、身の回りのものを清潔に保とうとする機運が高まっており、エアコンの内部洗浄を自ら行う方がいます。しかし、誤った方法で内部洗浄を行ったことで、火災事故を引き起こすことがあります。



### エアコンの内部洗浄に注意しましょう！



みまもちゃん

- エアコンの内部洗浄を行う際は、絶対に電気部品に洗浄液がかからないように注意してください。
- 発火・破損のおそれがあるため、可燃性の溶液（消毒用アルコール等）や腐食性のある溶液（次亜塩素酸ナトリウム等）で内部の掃除をするのはやめてください。
- エアコンの内部洗浄は、なるべく正しい知識を持った業者に依頼してください。

参考：独立行政法人 製品評価技術基盤機構「エアコンの内部洗浄による事故に注意 ～製造から長期間経過した換気扇・扇風機にも注意～」



## 古い扇風機の火災事故に注意！

製造から長期間経過した扇風機は経年劣化によってコンデンサーやモーター等の絶縁が劣化し、火災事故を起こす恐れがあります。

### <事例① 扇風機を焼損し、やけど>

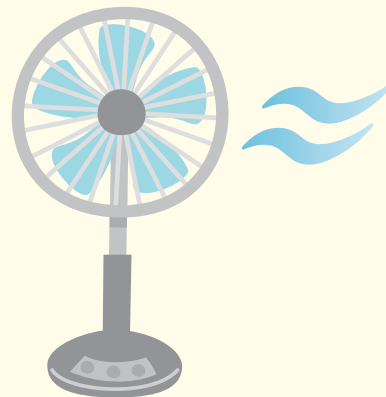
約29年間使っている扇風機のコンデンサーが絶縁劣化し、ショートして発火。扇風機とその周辺を焼損し、1人がやけどを負った。

### <事例② 住宅を全焼する火災>

約30年間使っている扇風機のモーターが絶縁劣化し、スパークが生じて周囲のほこりに着火。住宅を全焼する火災を起こし、1人が重度のやけどを負った。

### こんなときは使用を中止してください！

- スイッチを入れても羽根が回転しない
- 羽根の回転が遅かったり、不規則であったりする
- 回転するときに異常な音や振動がする
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさかったりする
- 電源コードが折れ曲がったり、破損していたりする
- 電源コードに触れると、羽根が回ったり回らなかったりする



参考：独立行政法人 製品評価技術基盤機構「古い扇風機の火災事故」